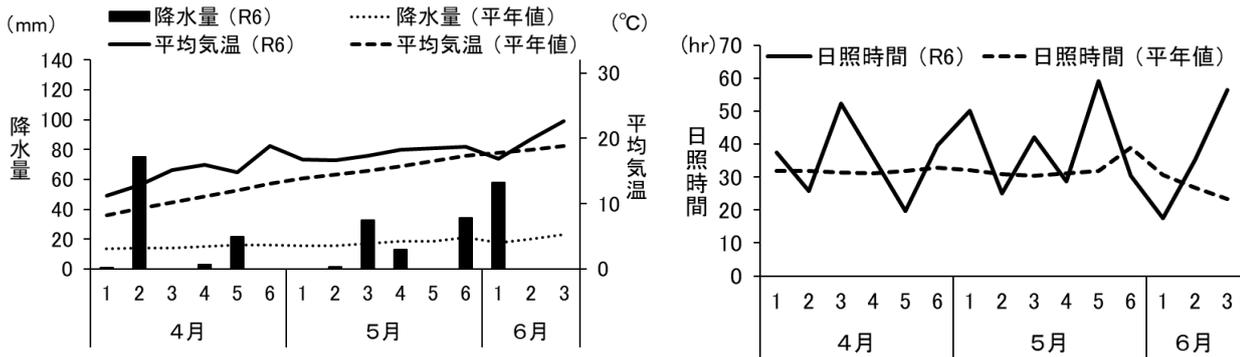


仙台稲作情報 2024 (第3号)

宮城県仙台農業改良普及センター TEL:022-275-8410 FAX:022-275-0296
 http://www.pref.miyagi.jp/sd-nokai E-mail:sdnokai@pref.miyagi.lg.jp

- ▷ 目標茎数確保を確認して、中干しを実施しましょう。
- ▷ 水田を見回り、いもち病の早期発見・早期防除に努めましょう。
- ▷ 水田内や畦畔等の雑草防除を徹底し、斑点米カメムシ類の被害を防止しましょう。

1 気象経過



- ・ 6月中旬の平均気温は概ね平年より高く推移しました。
- ・ 6月第2半旬以降、雨が少ない日が続いており、日照時間も平年より多くなっています。

2 管内の生育状況 (6月20日現在)

(1) 移植栽培 (ひとめぼれ)

草丈の管内平均値は 39.2 cm (平年比 102%、前年比 91%)、葉色は 42.4 (平年差-0.6、前年差-1.2) でいずれもほぼ平年並の状況です。茎数は 394.8 本/m² (平年比 93%、前年比 108%) で平年よりやや少ない状況となっていますが、前回調査 (平年比 79%) と比較すると平年並の数値に近づいています。

表1 6月20日の調査結果(管内)

品種	地帯	場所	田植日	草丈 (cm)			茎数 (本/m ²)			葉色値 (GM値)		
				本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差
ひとめぼれ	仙台湾沿岸	仙台市宮城野区	5/16	37	90	103	207.3	94	76	41.5	+0.7	+0.3
	北部平坦	大郷町鶉崎	5/7	40.6	94	106	478.9	114	113	44.1	-1.1	+0.5
	西部丘陵	仙台市泉区	5/15	40.1	90	97	498.1	110	87	41.5	-3.3	-2.7
	管内平均			39.2	91	102	394.8	108	93	42.4	-1.2	-0.6
ササニシキ	仙台湾沿岸	仙台市若林区	5/17	35.1	90	92	309.6	124	84	41.3	+1.8	-0.5
金のいぶき	仙台湾沿岸	仙台市若林区	5/7	39.2	93	-	430.1	108	-	39.8	-0.5	-

※平年比の計算は、直近3か年の平均値を使用。仙台市若林区「金のいぶき」は平年値なし。

表2 品種別生育調査結果(県内32地点)

品種	草丈 (cm)			茎数 (本/m ²)			葉色値 (GM値)		
	本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差
ひとめぼれ	38.3	92	104	386	113	104	43.4	-1.6	±0.0
ササニシキ	35.8	93	102	386	108	87	41.8	-0.3	+0.2
つや姫	40.7	97	117	391	108	129	42.8	-2.2	-0.2

※ひとめぼれ 18 地点、ササニシキ 6 地点、つや姫 8 地点、古川農業試験場、仙台的地点含む

(2) 乾田直播栽培

ササニシキの草丈は 37.1cm、茎数は 383.2 本/m²、葉色は 29.6 となり、葉色はやや淡いものの、概ね順調な生育となっています。ひとめぼれの草丈は 36.1 cm、茎数は 221.3 本/m²、葉色は 34.7 でした。

表3 6月20日の調査結果(管内 乾田直播栽培)

品種	地帯	場所	播種日	草丈 (cm)			茎数 (本/m ²)			葉色値 (GM値)		
				本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差
ササニシキ	仙台湾沿岸	仙台市若林区	4/18	37.1	87	96	383.2	57	72	29.6	-6.6	-9.9
ひとめぼれ	仙台湾沿岸	仙台市若林区	4/21	36.1	-	-	221.3	-	-	34.7	-	-

※乾田直播のひとめぼれは、今年から調査を開始したため前年値なし

3 本田管理

移植栽培

(1) 水管理

- ・高温が続くと分けつが旺盛になり茎数が過剰になることがあります。籾数の適正化と登熟向上のため、**分けつが旺盛な時は深水管理をして茎数を抑制しましょう。**
- ・生育調査の結果、茎数が平年よりやや少なかったため、目標茎数の確保が平年より遅れる可能性があります。**生育が遅れているほ場では浅水管理により茎数の確保に努めましょう。**
- ・**自然落水したまま田面が露出しているほ場が散見されます。**こまめに見回りを行い入水するなど、適切な水管理をしましょう。

(2) 中干し

- ・中干しは、「土壌に酸素を供給し、根の活力を向上させる」「無効分けつの発生を抑制し、葉の受光姿勢を良くする」「作土層の硬化を促進し、倒伏軽減や秋作業を楽にする」等の効果があります。
- ・**目標茎数を確保したら早めに実施しましょう。**1 m²当たりの茎数を確認する方法は、表4を参考にしてください。
- ・中干しの期間は7～10日間程度で、田面に小さな亀裂が入り軽く足跡がつく程度とします。水はけの悪い水田や大区画水田では、排水をしやすくするために溝切りを行いましょう。

表4 ほ場1 m²当たりの茎数を確認する方法

株当たり 平均茎数	1 m ² 当たり茎数 (本)		
	坪 70 株植え (21.2 株/m ²)	坪 60 株植え (18.2 株/m ²)	坪 50 株植え (15.2 株/m ²)
20 本	424 本	364 本	304 本
24 本	509 本	437 本	365 本
28 本	594 本	510 本	426 本

出穂期までの目標茎数(m²当たり)

- ・ひとめぼれ 410 本～460 本
- ・ササニシキ 480 本～510 本
- ・だて正夢 350 本～400 本
- ・金のいぶき 440 本～490 本

生育が中庸な連続 10 株程度の茎数を数えて「株当たり平均茎数」を計算すると、表3から「1 m²当たり茎数」を求めることができます。

「株当たり平均茎数」が 20 本とすると、坪 70 株植えの場合、「1 m²当たり茎数」は 424 本となります。

(3) 病害虫防除

① いもち病

- ・補植用残苗は土中に埋めるなどして直ちに処分しましょう。処分する際にいもち病の発生を確認した場合は、本田での発生に注意しましょう。
- ・箱施用剤等による予防防除を行った場合でも、本田で発病が見られた場合は速やかに茎葉散布剤で防除しましょう。
- ・箱処理剤を使用していない場合は、6 月中下旬に水面施用剤（粒剤）による予防防除を必ず行いましょう。
- ・「金のいぶき」は「ひとめぼれ」と比較していもち病に弱い品種です。箱施用剤に加え水面施用

剤または茎葉散布剤による2回防除を必ず実施しましょう。

- ・BLASTAM（ブラスタム）で葉いもちの感染好適条件の出現を確認することができます。ほ場の見回りに活用し、早期発見・早期防除に努めましょう。

※BLASTAMは病害虫防除所のサイト <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/blastam.html> を参照

② 斑点米カメムシ類

- ・水田内のヒエやホタルイ類の雑草は、稲の出穂前にカメムシ類を水田内に呼び寄せる原因となります。雑草の種類と葉齢を確認の上薬剤を選定し、7月上旬頃までに防除しましょう。
- ・斑点米カメムシ類の発生を抑制するため、稲の出穂15～10日前（7月中旬）までに休耕田や土手、畦畔等の草刈りを徹底し、雑草が出穂しないように管理しましょう。

乾田直播栽培

(1) 水管理

- ・乾田直播栽培では移植栽培よりやや減水しやすいため、水深5cm程度で管理し、分げつの発生を促進させましょう。
- ・目標茎数を確保した後は「飽水管理」を実施しましょう。

【飽水管理の方法】

※飽水管理…地表に水はないが、土壌には足跡や溝に溜まる程度に水が含まれている状態で管理すること。

- ・水田の足跡に水が無くなったなら入水し、表土が十分に湿ったら落水します。稲体強化、根の活力維持の効果が期待できます。
- ・実施期間は出穂期までとします。
- ・入水及び落水を速やかに実施できるように、溝切りを必ず実施しましょう。

(2) 雑草防除

- ・水田を見回って雑草の発生状況を確認し、雑草が小さいうちに除草剤を散布しましょう。除草剤の選定に当たっては、雑草の種類や葉齢、使用時期（「ノビエ〇葉期まで」、「稲〇葉期以降」等）を確認し、適正に使用しましょう。

4 東北地方の向こう1か月の天候の見通し（6/20 仙台管区气象台発表）

予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に、期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。

■宮城県農薬危害防止運動実施中（6月1日～8月31日）

宮城県では、6月から8月にかけて農作物等の病害虫が発生しやすく、農薬を使用する機会が最も多くなる時期です。農薬安全対策の不備や不注意等による事故が発生しやすくなるため、農薬使用による危害防止と環境に配慮した適正な農薬の使用を徹底しましょう。

- ・ラベルに記載されている適用作物、使用時期、使用方法等を十分に確認しましょう。
- ・散布後には農薬の使用履歴を記帳しましょう。

■春の農作業安全確認運動実施中（4月1日～6月30日）

○重点推進テーマ「学ぼう！正しい安全知識 ～機械作業の安全対策と熱中症の予防策～」

乗用型トラクターなどの農業機械の転落や転倒による死亡事故や、異常な高温の影響で熱中症患者が多くなっているため、事故防止対策や被害軽減対策を徹底しましょう。

【農業機械の事故防止対策・被害軽減対策】

- ・ほ場周辺の危険箇所の確認、危険回避行動の実践
- ・シートベルトとヘルメットの着用
- ・危険箇所の改善
- ・安全フレーム付きトラクターの利用

【熱中症対策】

- ・こまめな休憩と水分補給
- ・高温時の屋外での作業は極力避ける
- ・複数名で作業を行う
- ・身体を冷やす工夫を

次回の稲作情報第4号は、7月1日に実施する生育調査の結果をもとに7月3日頃の発行となります。